

## アロマビット社の QCM 型匂いセンサー技術に関する知的財産権譲渡契約の締結について

—当社技術との融合により、迅速測定性能と高い再現性を兼ね備えた革新的な匂いセンサーの開発へ—

三洋化成工業株式会社

(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、代表取締役社長:樋口章憲)は、株式会社アロマビット(代表取締役社長:黒木 俊一郎、本社:東京都中央区、以下:アロマビット)との間で、同社が保有する QCM(水晶振動子マイクロバランス)型匂いセンサー技術に関連する知的財産権の譲渡契約、および関連知的財産権の実施許諾契約を締結しましたのでお知らせします。

本契約により、今後はアロマビットの QCM 型匂いセンサー技術を活用した製品開発および開発プロジェクトを当社が主体となって進めていくとともに、当該技術と当社技術との融合を図り、革新的な匂いセンサーの実現を通じて、匂いセンシング分野での実績拡大を目指します。

当社の『FlavoTone<sup>®</sup>』は、複雑で多様な匂いを可視化できる匂いセンサーです。匂いの検知には、匂い物質が吸着すると電気抵抗が増加する感応膜の材料特性を活用しており、温度や湿度などの外的要因の影響を受けにくく、高い再現性が得られることが特長です。

アロマビットが保有する QCM 型匂いセンサー技術は、匂い物質が吸着すると感応膜の重量変化を検出する検出原理を活用しており、吸着したニオイ分子の情報を高速に検知することができる反面、環境変化に鋭敏に追従してしまうことにより、環境変動の影響を受けやすいという課題がありました。

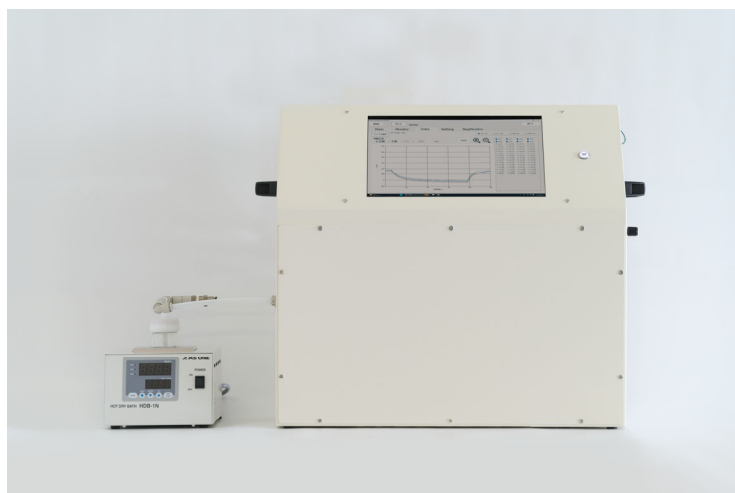
一方で、短時間のニオイの変化を追跡しやすいなどの特徴もあり、『FlavoTone<sup>®</sup>』の特徴と補完的に利用できる仕組みであるといえます。

今回の契約により、当社はアロマビットから引き継いだ QCM 型匂いセンサー技術を基盤とした技術開発を進めます。また、当社独自のセンシング技術と融合することで、迅速な測定性能と外部環境に左右されない信頼性を兼ね備えた革新的な匂いセンサーの開発を推進し、新たな市場価値の創出を目指します。

この技術融合により、食品、化学、アグリ分野、環境モニタリングなど幅広い分野の多様な課題を匂いの可視化で解決し、匂いセンサー市場における競争力を強化していきます。

### 【『FlavoTone<sup>®</sup>』について】

『FlavoTone<sup>®</sup>』は、人間の鼻と同じように、複雑な匂いを識別できるセンサーです。品質管理、特性比較、モニタリングなど、幅広い用途にご使用いただけます。センサーの販売に加え、レンタルや受託分析も提供しています。



※匂いセンサーのサイトでは様々な事例を紹介しています。

<https://kaori.sanyo-chemical.co.jp/>



**【株式会社アロマビット について】**

会 社 名 : 株式会社アロマビット

所 在 地 : 東京都中央区銀座 7-13-6 サガミビル 2 階

代 表 者 : 代表取締役社長 黒木 俊一郎

設 立 : 2014 年 2 月

事業内容 : センサーを用いた製品ならびに革新的なニオイサービスの企画、開発、販売。これらを含む付帯事業。

URL : <https://www.aromabit.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 コーポレート・ガバナンス部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>